

◎山下浩雅観光文化スポーツ部長

初めに、これまでの市民への普及啓蒙活動及び企業連携の具体的な取組についてであります。

まず、市民への普及啓蒙につきましては、連携協定団体の拡充のほか、水の旅学学習会をはじめ、水の旅案内人養成講座、公民館の出前講座、白山検定など学びを中心とした取組に加え、「ゆきママとしずくちゃん」やあさがおテレビのジオパーク番組、SNS広告など、様々なツールを活用し、啓蒙活動を行ってきたところであります。

また、企業連携につきましても、北國新聞社の企業版ふるさと納税や企業の寄附金による事業展開をはじめ、石川県地質調査業協会との連携イベント「石の標本づくり」のほか、イオンモール白山におきましては、ジオパークのPRコーナーの設置や大型ビジョンでの動画の定期的な放映、各種イベントの実施など、世界認定に向けた活動の広がりとともに、ジオパークに共感する企業との様々な連携を進めているところであります。

次に、ジオパーク活動に取り入れた防災の視点についてであります。白山手取川ジオパークのエリアには、活火山である白山や急流河川の手取川、森本富樫断層帯のほか、冬季の降雪などにより、多種多様な自然災害の可能性へとつながっております。

このことから、ふだん起こり得る自然災害は、この地域の大地を形づくってきた地球の活動の一部であり、地域の恵みにもつながっているとのジオパークの視点を活動に取り入れながら、これまでも防災をテーマとした学習会や白山火山の授業などにより、防災教育の普及に努めてきたところでございます。

以上でございます。